

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月21日更新

事務事業名		熊本県読書活動振興協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	上原 哲也	
	施策	21	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	大高知加子	
	基本事業	66	学習の啓発			所属班	図書館班	(内線)	2531	
予算科目	会計一般	款10	項5	目8	事業連番10947	法令根拠	熊本県図書館活動振興協議会会則		成果優先度評価結果	①
									コスト削減優先度評価結果	⑥
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	熊本県内の公共図書館で組織する連絡協議会が開催する研修会に参加する事業である。 ※H24年度から(10948)図書館協会等参画事業に統合した。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	研修会参加、協議会会員間の連絡・調整等をする。
【主な予算費目】	負担金及び交付金(県図書館活動振興協議会負担金)
【意見や要望】	専門的な知識が得られたことにより、住民サービスがよくなる。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
公共図書館連絡協議会が主催する研修会及び情報交換会に参加した。	研修会に多く参加し情報を得る。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア:情報誌入手件数	(10948) 図書館協会等参画事業費に統合のため減
イ:研修会参加者数	人
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
図書館職員	→ ア:図書館職員数
	イ: 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・図書館の現状及び最新情報を入手できる。	→ ア:調査研究のレファレンス数
・参画することによって専門性の向上につながる。	イ: 件
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 件	5	7	5	4					
	イ 人	19	7	15	12					
	② 対象指標	ア 人	32	32	32	32				
③ 成果指標	ア 件	1,224	1,270	1,000	855					
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	9	9	9	9				
	(A)事業費計	千円	9	9	9	9				
人件費	(A)のうち指定経費	千円	9	9	9	9				
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0				
	正規職員従事人数	人	3	4	4	4				
延べ業務時間	時間	28	130	30	110					
(B)人件費計	千円	111	535	123	444					
トータルコスト(A)+(B)	千円	120	544	132	453					

事務事業名	熊本県読書活動振興協議会参画事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 業務の都合で、研修会参加が若干少なかった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 開館日での研修であるため、多数は参加できない。	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 司書等の出勤がシフトのため、業務の都合で参加できないことが多い。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 県図書館協会と合同の職員研修のため統廃合ができる。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 人口割の負担金のため削減余地はない	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 研修会参加のため削減余地はない	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 研修会に参加することで職員の資質向上し、市民サービスへとつながるため妥当である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>職員の知識向上のため、図書館協会等参画事業に統合し、引き続き参加していく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						